

## AGWPE の設定

- 私が UPRISM を使用する際の AGWPE 設定方法を紹介します。
- 1 AGWPE は、ギリシアのアマチュア局 SV2AGW が作成したパソコンのソフトと TNC の間のインターフェース（TNC の設定及び TNC とのデータのやり取り）を共通化させるものですが、パソコンのサウンドカードを TNC の代わりとする機能が付属しています。そのため、TNC のハードウェアがない場合であっても、パソコンとトランシーバ、アンテナがあれば、パケット通信ができます。
- 2 AGWPE と組み合わせて UPRISM のメッセージボックスを利用するソフト「UPRISM」を開発し、ブログ「<http://jilizr.air-nifty.com/>」に UPRISM のマニュアルと併せて公開していますが、初めて AGWPE を使う人もいますので、AGWPE の設定方法をまとめてみました。
- 3 AGWPE はウィンドウズ用ソフトですが、インストール作業は不要です。解凍したフォルダに現れる「AGW Packet Engine.exe」というファイルをダブルクリックすれば、起動します。

○ ソフトウェアの入手及びインストール

AGWPE は SV2AGW 局のウェブサイト (<http://www.sv2agw.com/>) から、次の手順で入手できます。

- 1 <http://www.sv2agw.com/>にアクセスします。下の画面が表示されたら、左上のオレンジの部分に表示されている「Downloads」をクリックします。



- 2 すると下の画面となりますので、画面の中ほど「AGW Packet Engine」という表題がある部分へスクロールバーを移動します。



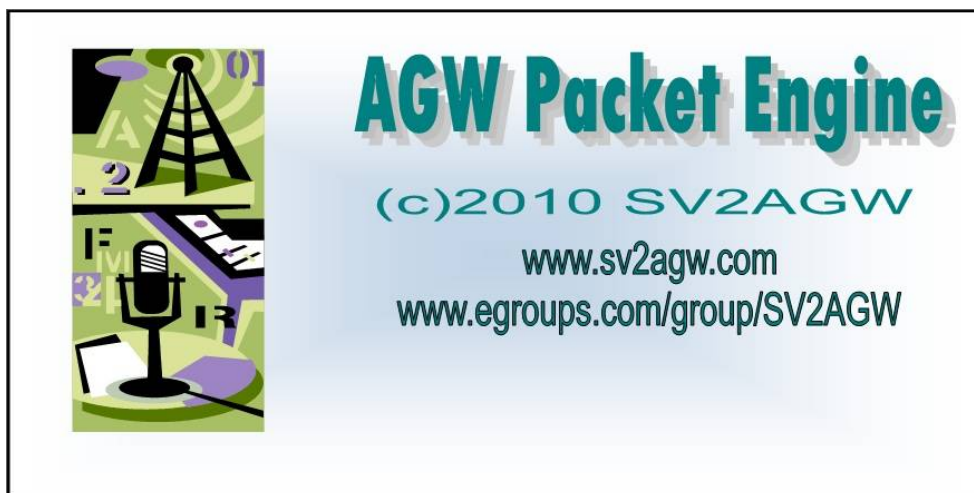
- 3 「AGW Packet Engine」の表題の最初に「AGWPE.zip」と表示されていますので、これをクリックし、適宜のフォルダに保存します。



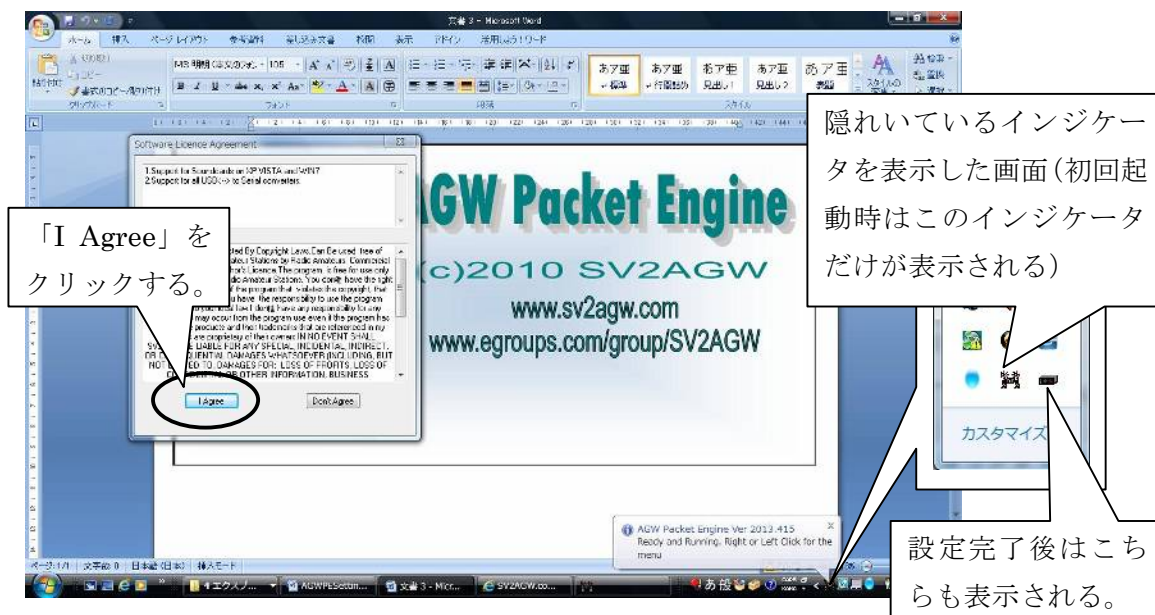
- 4 ダウンロードした zip ファイルを解凍ソフト等（Vista 以降のエクスプローラでは、特別なソフトなしに解凍できます。）で解凍します。解凍後のフォルダごと、適宜のフォルダに移動します。その中の「AGW Packet Engine.exe」という名称のファイルがプログラム本体です。特別なインストールは必要なく、この実行ファイルをダブルクリックすれば起動します。ショートカットをデスクトップに作成しておくとも便利です。

- 次ページ以降に、AGWPE の設定方法を記載します。なお、画面はウィンドウズ7（一部 Vista が混ざっています）のものですが、Vista でも同様の画面でした。ウィンドウズ8では未確認です。（2013年4月29日現在のAGWPEウェブの対応表示はWindows7までしか記載されていません。）

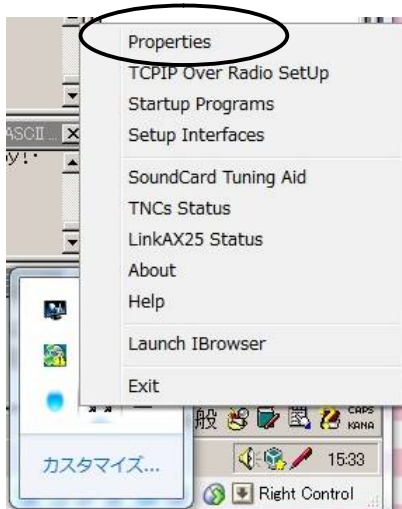
I AGWPE を起動すると、次のような画面がしばらく表示されます。なお、パソコンの機種によっては、マイク端子に何も接続されていないと、サウンドカードの音声入力が動作していない状況となり、AGWPE がエラー表示して起動できません。(私の NEC パソコンがその状態でした。)



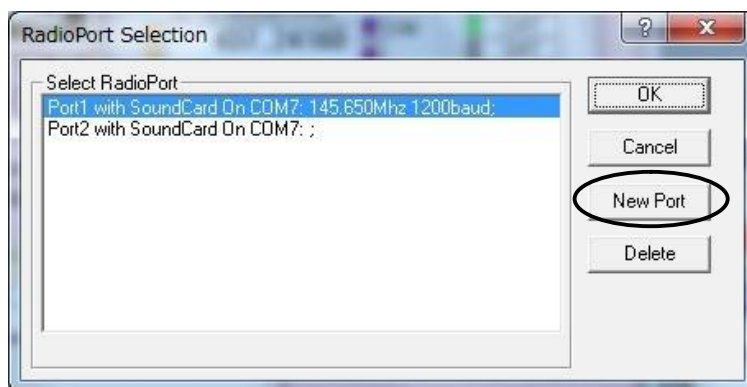
II I の画面が消えると、右下のインジケータ部分に、正面が黒の中央に緑の点とその両側に赤い点が付いた四角い箱がアンテナタワーに挟まれたインジケータが表示されます。アイコンが隠れている場合もありますので、そのときは「隠れているインジケータを表示する」ようにしてください。AGWPE を初めて起動したときは、利用許諾条項「Software Licence Agreement」が表示されますので、「I Agree」をクリックします。また、初めての起動のときは、この四角い箱のインジケータは1つだけ表示されますが、以降の設定完了後再起動した場合は、同じようなインジケータ（アンテナタワーが無いもの）がもう一つ表示されます。



Ⅲ 表示されたインジケータを左クリックし、一番上の「Properties」をクリックします。



Ⅳ 「Radio Port Selection」というウィンドウが開くので、「New Port」をクリックします。なお、一旦設定したものを修正する場合は、このウィンドウの左の「Select Radio Port」の下に表示されたものを選択（クリック）してから、「OK」をクリックします。



V 「Properties for Port1」というウィンドウが開くので、「Tnc Setup」タブで次のとおり設定します。最後に「Options」をクリックして、次の設定に進みます。（設定の記載ないものは初期値のままとします。）

①自分のパソコンの送受信切り替えに使用するRS-232C端子の番号を選択する。USBシリアル変換器の場合は、デバイスマネージャーで確認する。（送受信切り替えの回路は、後述する。）

②「SinglePort」を選択する。

③適当な名称を付ける。

④リストの中から「SoundCard」を選択する。

⑤「Options」をクリックする。

VI 続いて「SoundCard Modem/TNC Setup」というウィンドウで次のとおり設定します。設定の記載ないものは初期値のままとします。記載あるものも初期値のままと思います。

①「OnAir BaudRate」は両方とも「1200」

②使用するサウンドカードを選択

③設定完了後、クリックする。

VII VIの設定後、「OK」をクリックするとVの画面に戻るので、こちらでも「OK」をクリックします。すると、次のウィンドウが表示されるので、「OK」をクリックします。



VIII 以上で AGWPE の設定が完了しました。パソコンの再起動は必要ありません。AGWPE を再度起動して、UPRISM と併せてご利用下さい。

IX パソコンとリグの接続アダプタの回路図 (例) は次のとおりです。

左側がパソコンへの接続で、上がヘッドフォン端子、中が RS-232-C (USB 変換アダプタ)、下がマイク端子です。右側がトランシーバへの接続で、上が変調入力 (マイク入力等)、中が PTT、下が音声 (ライン) 出力端子です。音声入出力の途中の半固定抵抗で、レベル調整をしてください。

この回路は、私の FT-847 と IC-821 で動作しています。製作及びパソコンやトランシーバへの接続は、自分の環境に合わせて調整等してください。

